

農業ひろさき

2023年3月1日 (第205号)

(令和5年3月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104



令和4年度 農業後継者りんご整枝せん定競技会



せん定技術を指導する
花田講師



アシストスーツを
体験する参加者



閉会式終了後に参加者みんなで

市農業委員会主催の令和4年度農業後継者りんご整枝せん定競技会が、1月19日に市りんご公園で開催され、農業後継者がせん定技術と知識を競い合いました。

この競技会は、せん定技術の向上と参加者同士の交流を目的として毎年開催しているもので、今年は市内の若手生産者3組(3人1組)と個人4人の計13人が参加しました。

競技会に先立ち、花田幸男青森県りんご協会特別講師による模範せん定が行われた後、参加者はそれぞれに割り当てられた一本の樹をせん定する実技試験と、りんごに関する知識を問う筆記試験に挑みました。

また、当日はりんご生産の現場で作業負担の軽減効果が期待される、「アシストスーツ」の体験会も行われました。

競技会の結果は次のとおりです(敬称略)

◆弘前市長賞(優勝)

- 団体の部：津軽みらい農業協同組合石川地区青年部
- 個人の部：小田桐蓮(津軽みらい農業協同組合石川地区青年部)

◆青森県りんご協会会長賞(準優勝)

- 団体の部：相馬農業青年の会
- 個人の部：中澤廉(相馬農業青年の会)

◆弘前市農業委員会会長賞(第3位)

- 団体の部：十腰内青年部
- 個人の部：小田桐拓也(津軽みらい農業協同組合石川地区青年部)



団体の部 第1位



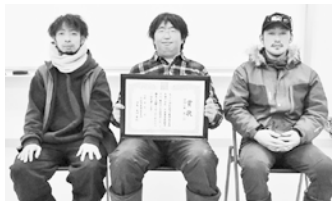
津軽みらい農業協同組合石川地区青年部
小田桐拓也、齋藤修記、小田桐蓮

団体の部 第2位



相馬農業青年の会
中澤廉、三浦勇基、三上翔平

団体の部 第3位



十腰内青年部
三浦佑哉、大湯千秋、井上信

個人の部



優勝 小田桐蓮(中)
準優勝 中澤廉(左)
第3位 小田桐拓也(右)

農業委員会総会・合同研修会開催

市農業委員会(成田繁則会長)は1月24日、農業委員会定例総会を市内のホテルで開催しました。農地利用最適化推進委員が傍聴する中、農業委員が農地の権利設定等に関する議案の審議を行い、全議案が可決されました。

総会後には、農業委員と農地利用最適化推進委員合同による研修会が開催されました。研修会では、10月から始まる消費税に関するインボイス制度をテーマに、薬師山正人税理士事務所の薬師山正人氏が講演を行いました。講演後には質疑応答も交わされ、参加した委員はインボイス制度への理解をより一層深めました。また同日は、(一社)青森県農業会議職員による農業者年金の推進活動についての研修も行われ、各委員は活動への意欲を高めていました。



研修会の様子

「地域農業の将来方針」や「地域計画」について考える集落座談会を開催しました

今年1月から2月にかけて、市内10地区において地域農業の将来方針(人・農地プラン)及び地域計画に係る集落座談会を開催しました。

後継者の有無や遊休農地を記載した地図を確認する場面では、農地の活用について活発な議論が交わされ、各々が今後の地域の農業について思いを巡らせていました。

また、令和6年度末までに、これまで策定してきた「地域農業の将来方針」の内容に加えて、将来の営農者など、10年後に目指すべき一筆ごとの農地利用の姿を地図に示す「地域計画」に関する市担当者の説明に、参加者は興味深げに耳を傾けていました。

話し合われた地域農業の将来方針は、3月を目途に決定され、市ホームページなどで公表される予定です。



地図を確認する参加者

家族経営協定 調印式

農業経営の方針や家族一人ひとりの役割、休日の取り方などについて家族で話し合って取り決める「家族経営協定」の調印式が、1月24日に行われました。

調印式に参加されたのは、米澤廣美さん、あき子さん、貴子さんご家族で、目指す農業経営の実現に向かって取り組むことを誓いました。本市の協定締結家族は、今回の締結を含めて164組となりました。

家族経営協定は、認定農業者制度の共同申請や農業者年金の加入にあたり保険料の国庫助成、制度資金の活用などのメリットがあります。詳しくは、下記へお問い合わせください。



弘前市家族経営協定調印式

■問い合わせ先

農業委員会総務係(市役所前川本館3階)

☎40-7104

『パワーアップる! 弘前産りんごPRキャラバン』

弘前りんごの会(会長・櫻田宏市長)では、昨年10月から「パワーアップる! 弘前産りんごPRキャラバン2022」を実施し、弘前産りんごの魅力を全国に発信しました。

令和4年度は13エリアにおいて、スーパーで弘前産りんごを販売する「アップルウィーク」を実施し、令和4年産りんごのおいしさを多くの消費者に伝えるとともに、「りんごのまち弘前」の知名度アップに繋げ、弘前産りんごの消費拡大に努めました。



キャンペーンガール りんご娘

弘前市土地改良事業等補助金について

農村整備課では、下表の補助事業を実施しております。下表に記載されている補助事業の詳しい内容を知りたい方、事業の活用をお考えの方は、問い合わせ先へご連絡ください。

事業名	主な事業内容	主な採択基準	補助率
かんがい排水事業	農業用排水路などの新設または変更事業	・受益面積20㌦以上 ・事業費10万円以上	50%以内
小規模農道整備事業	農道等に舗装(コンクリートまたはアスファルト)を行う事業	・受益面積20㌦以上 ・延長50㌦以上 ・幅員2㌦以上	55%以内
	農道等の舗装補修を行う事業(穴埋めなどの簡易な補修は除く。)	・受益面積20㌦以上 ・事業費10万円以上 ・幅員2㌦以上	45%以内
	農道に砂利を敷く事業	・受益面積20㌦以上 ・厚さ10㌦以上 ・幅員2㌦以上	35%以内
農業用安全施設整備事業	農業用施設で転落事故などの危険性が高い箇所に安全施設を設置する事業	・受益面積20㌦以上 ・事業費10万円以上	40%以内

※上記各種事業の補助対象者

(1) 土地改良区 (2) 農業協同組合 (3) 共同施行者(当該事業を共同で行う、数人の者で構成)

■問い合わせ先 農村整備課農村整備係(市役所前川本館3階) ☎40-2955

農業者年金くお問い合わせは農業委員会事務局もしくはお近くの農協で!

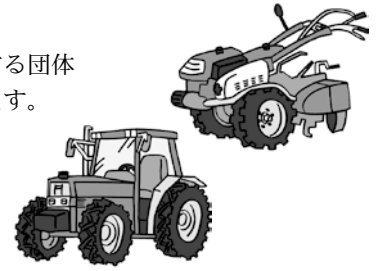
令和5年度弘前市農作業省力化・効率化対策事業費補助金

市では、農業者が農作業の省力化・効率化を図るための取組を支援します。

- ◆公募期間 2月16日（木）～3月15日（水）
- ◆対象者 市内農業者、市内に本店を有する農地所有適格法人、市内農業者等で組織する団体
※ただし、過去7年間に同種の補助事業を活用した方は応募対象外となります。

◆事業内容と補助対象経費

- ①農業機械導入…農業経営に要する機械の導入にかかる経費
- ②農業用ハウス整備…農業用ハウスの整備にかかる経費
- ③集出荷環境整備…ほ場内での荷さばき場や作業道の整備にかかる経費



◆補助率・補助上限額

補助対象経費の実支出額（税抜き）の3分の1に相当する額以内（上限額…①・②＝50万円／③＝23万円）

※【優遇措置】認定新規就農者および一定の要件を満たして令和4年度中に園地を継承した受け手については、補助対象経費の実支出額（税抜き）の2分の1に相当する額以内（上限額…①・②＝100万円／③＝40万円）

◆その他

項目（認定農業者等、認定新規就農者、青色申告を実施している者、収入保険制度加入者ほか）ごとにポイントを設定し、より多くのポイントを獲得した応募者から採択します（獲得ポイントに上限あり）。

提出書類および詳しい要件などについては、お問い合わせください。

※本内容は令和5年度予算案に基づくものであり、予算の成立をもって実施することとなりますので、今後内容等に変更が生じる場合があります。

◆市ホームページ <https://www.city.hirosaki.aomori.jp/sangyo/nogyo/syouryokuka.html>

■問い合わせ・応募先 農政課（市役所前川本館3階）

- ①の事業については 農地支援係 40-0656
- ②の事業については 農産係 40-0504
- ③の事業については 地域経営係 40-7102



りんごの落葉を収集・処理して病害虫防除！

おいしいりんごの安定生産のために、特に防除を徹底すべき重要病害虫は約20種類ありますが、そのうち、右記の5種類の病害虫がりんごの落葉に潜んで冬越ししていることが分かっています。

- 1 黒星病
- 2 黒点病
- 3 斑点落葉病
- 4 褐斑病
- 5 キンモンホソガ

これまでに落葉を収集して、土中に深く埋めたり、園外に持ち出すことにより黒星病の発生が少なくなる効果が確認されています。

落葉を収集・処理することで、黒星病ばかりでなく、近年発生が多い褐斑病等の感染源を減少させ、発生を抑えることが期待できます。

落葉の収集等に適した期間は、落葉後から積雪前までの期間及び雪解け後から発芽・展葉頃までの期間と短く、また、熊手などを使った手作業では多大な時間と労働力が必要となりますが、機械メーカーやりんご研究所等が共同開発した「落葉収集機（定価：税込326,700円）」を使用すると、短時間で、楽に収集することができます。

中南地域県民局が実施した調査では、落葉収集機を牽引した乗用草刈機で園地内を3周程度走行することでほとんどの落葉を収集することができ、費やした時間は手作業の1/30程度でした。

皆さんも取り組みやすい方法で、積極的に落葉収集処理を行って、黒星病や褐斑病等の病害虫が発生しにくい園地づくりを目指して行きましょう。



乗用草刈機で牽引して使用する落葉収集機

■問い合わせ先 青森県中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室 ☎33-2903

しっかり積み立て、がっちりサポート 安心で豊かな老後を

令和4年8月に大雨被害のあったりんご園地への技術指導について

令和4年8月に樹冠浸水などの大雨被害を受けたりんご樹については、貯蔵養分が少ないことが想定され、生育不良等が懸念されることから、今後の生育管理においては、下記についてご注意ください。

1. せん定

- 枝単位で鋸を入れた後は、春先に芽の動きを確認してから挟入れをする。
- 凍結による枝の減少を見込んだ上で、枝を切りすぎないように留意する。

2. 施肥

- 生育初期は生態が遅れて弱っているように見えるが、後で回復する場合もあるため、施肥の判断は樹の生育状況を見て判断する。
- 昨年秋に再発芽や展葉、開花した樹では開花結実量が少ないことが想定されるため、可能な限り樹が暴れないように管理する。

3. 結実

- 昨年秋に再発芽や展葉、開花が多く見られた樹では、今年の開花量が少ないと想定されるため、通常どおり発芽し、開花したものは人工授粉を行い、結実確保に努める。

4. 防除

- 結実が少ない場合でも通常どおりの防除を行う。
- 大雨被害を受けた園地では、8月以降の防除が難しかったことから、葉で越冬し、翌年の伝染源となるような褐斑病などの病気の菌密度が高い状態にあるため、しっかりと防除する。

■問い合わせ先

青森県農林水産部りんご果樹課生産振興グループ
☎017-734-9492 (直通)

令和5年農作業臨時雇用標準賃金を決めました

市農業委員会では、令和5年の農作業臨時雇用標準賃金について、下表のとおり決めました。

作業員の臨時雇用や農作業を委託する場合に、農業者の皆さんの目安にしてもらうため毎年設定しているもので、当事者間で賃金を取り決める際の参考としてご利用ください。

作業名		金額(円)	備考	
雇用賃金	田植え	6,900	1日(8時間)当たり まかない抜き	
	稲刈り	6,900		
	整枝せん定	10,000		
	人工授粉	6,900		
	摘花・摘果	6,900		
	袋かけ	6,900		
	除袋・葉とり・収穫	6,900		
農業一般	6,900			
オペレーター	トラクター	1,100	1時間当たり まかない抜き	
	乗用田植機	1,100		
	コンバイン	1,200		
	スピードスプレー	1,100		
請負料金	水田耕起	5,300	10畝当たり 機械・運転手付き まかない抜き	
	畑耕起	5,200		
	荒かきのみ (または、代かきのみ)	4,900		
	荒代かき	5,900		
	田植機	苗なし		6,000
		稚苗付き		19,500
		中苗付き		26,000
	コンバイン	乾燥なし		16,100
		乾燥まで		28,000
	ロールベアラー(糸あり)	4,100		
乾燥機	1,300	1俵当たり(生脱穀)		
スピードスプレー	5,500	1,000%、薬剤費別		

(注)実労働時間は1日当たり8時間を標準とし、超過した場合は時間当たりで換算してください。

※参考 青森県最低賃金は、令和4年10月5日から時給853円に改定されました。

■問い合わせ先 農業委員会総務係(市役所前川本館3階)
☎40-7104

農振除外申出5月1日締切

農地転用、その前に・・・

市では、農業振興のために利用・保全すべき土地を、『農用地区域』として設定しています。

この区域内の農用地を住宅用地や農業用施設用地(倉庫、資材置き場など)といった耕作以外の目的で使用する場合は、市が設定している区域から除外するなどの手続きが必要となります。

5月1日を過ぎますと、次回分は、7月31日が締切となる予定です。

また、農振除外の手続きは、申出締切から約6ヶ月以上の期間を要しますので、早期の事業着工を予定している方はあらかじめご注意ください。

なお、受付・相談は、農用地の所在する各地区の担当課窓口で行っています。

■問い合わせ先

- 【弘前地区】農政課地域経営係(市役所前川本館3階) ☎40-7102
- 【岩木地区】総務課農林係(岩木庁舎1階) ☎82-1621
- 【相馬地区】総務課農林係(相馬庁舎1階) ☎84-2111

